

GE社製 PET-CT装置

この装置は、高感度・高分解能のデジタル半導体検出器と深層学習による画像処理技術を搭載し、より小さな病変も高画質で描出します。撮像範囲の拡大により、従来の30分から10分以内に撮像時間が短縮され、長時間静止が困難な患者様も安心して検査を受けられます。また、高感度な装置のため、PET検査薬の投与量を減らすことが可能になり、放射線被ばくを15～30%低減できます。腫瘍検査に加え、認知症や循環器疾患の高精度な評価も可能です。

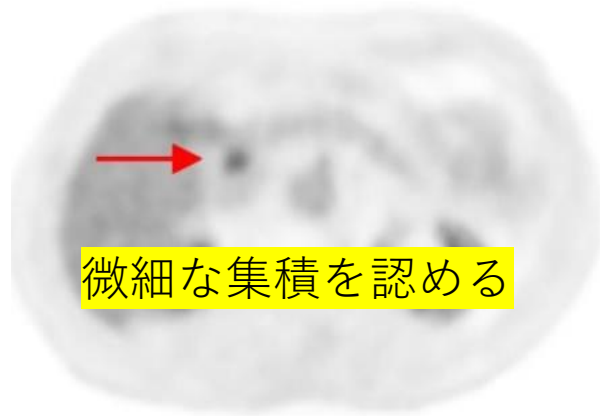


・FDG-PET検査

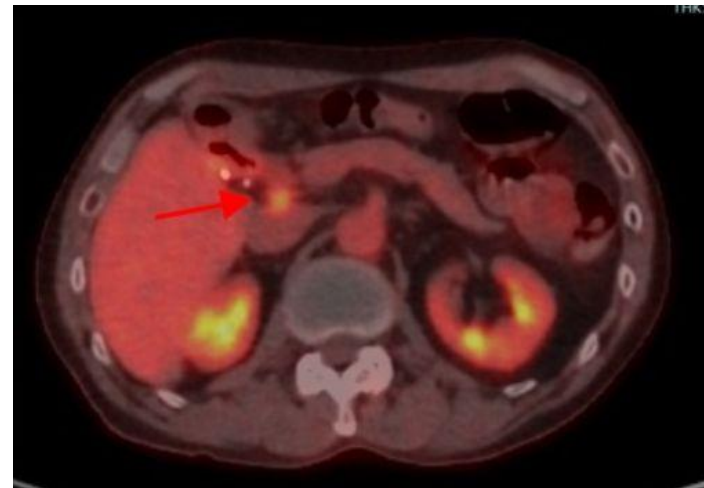
FDG-PET検査は、体内のブドウ糖代謝を調べるための検査です。この検査では、放射性医薬品である ^{18}F -FDGを静脈注射し、その薬剤が体内でどのように分布するかを専用のカメラで撮影します。主にがんの診断や治療効果の評価、再発の検出に用いられます。



神経内分泌細胞癌(肝門部リンパ節転移の疑い)



微細な集積を認める



・アミロイドPET検査

アミロイドPET検査は、脳内のアミロイド β プラークを可視化するための検査です。放射性医薬品を静脈注射し、その薬剤が脳に集まる様子を専用のカメラで撮影します。検査の目的は、アルツハイマー病などの検出に用いられます。

アルツハイマー 陽性

